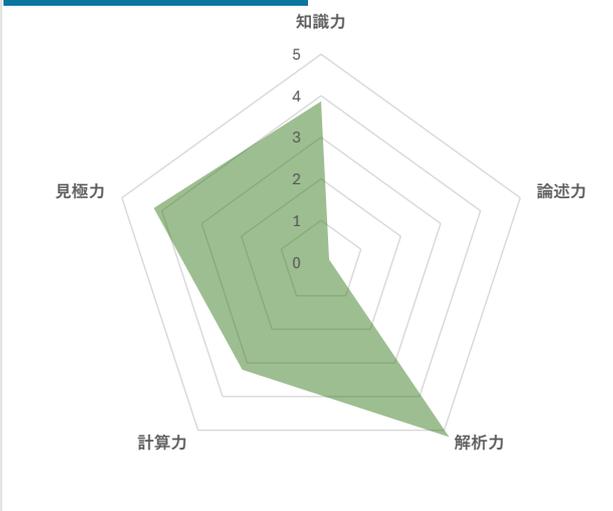


総合分析

試験区分	一般		
制限時間	60分(理科2科120分)	大問数	全3問

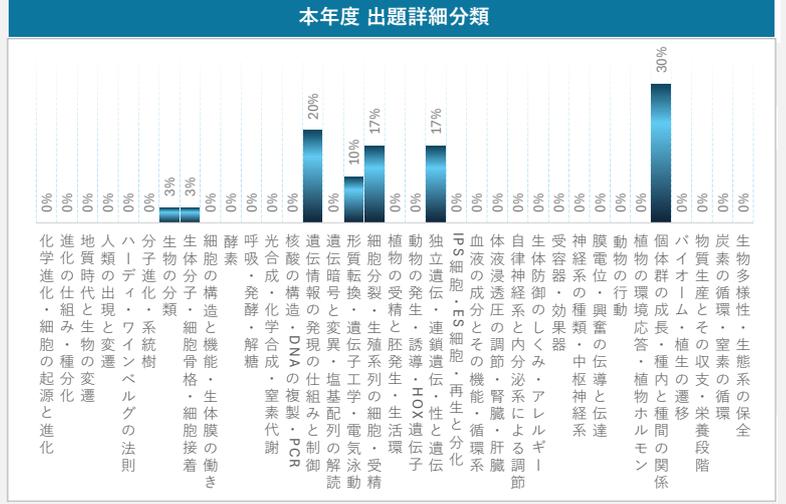
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
系統と進化	3%
生命現象と物質	3%
遺伝子	30%
生殖と発生	33%
生物の環境応答	0%
生態	30%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	大腸菌のトリプトファンオペロン
第2問	マウスの致死遺伝子・染色体の融合と断裂
第3問	個体数の変動

本年度 解答形式	
選択肢	100%



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.7	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	5.0	図表データなどから分析・解析する力
計算力	3.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	4.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学あり	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題あり	長文論述なし
特記事項	特になし				

総合評価

難度	3.3	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	60%
分量	75分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや多い	標準	

入試の特徴と対策	<ul style="list-style-type: none"> 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。 データ解析・推理・考察を要する設問が多い試験。 問題文が長く、複雑な設定や条件、前提知識が提示されている。
入試から見る大学が求める学生像	<p>標準的な内容も出題されるが、それぞれの出題でレベルの高い考察問題が出題されている。短い時間のなかですべてを解き切るのは困難であるため、いかに標準的な問題を短時間でさばるか、どの考察問題に時間を割り振るのかが見極めが大事になってくる。また、本文から情報を読み取り、それを解答に生かす力も求められている。</p>